

農 研 速 報

平成 28 年 8 月 31 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ケ崎市大徳町 3974
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(8月25日現在)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	問 題 点	備 考
	本 年	対 平 年 遅 速			
茨 城 県 (龍ケ崎市)	タチナガハ 莢伸長期～ 子実肥大期	1 日 遅 い	<p>龍ケ崎における7月第6半旬～8月第5半旬の気象および大豆の生育概況は下記のとおりである。</p> <p>【気象】 ○気 温: 日平均気温は平年より0.8℃低かった(図2)。 ○降水量: 8月第2半旬から第3半旬は全く雨が降らない日が続いた。その後、第4半旬および第5半旬には合計215mmの降雨があり、平年比283%と極めて多くなった(図3)。 ○日照時間: 平年比91%であった(図4)。</p> <p>【生育】 <u>タチナガハ</u>: 開花期は平年より1日遅い8月1日であった。分枝数はやや多く、主茎長、主茎節数、茎の太さは平年並である。株あたりの莢数は平年並であるが、莢重は平年比47%と極めて軽い。地上部の生体重は平年並である。 <u>里のほほえみ</u>: 開花期は前年より1日遅い8月2日であった。前年と比較して、主茎長、主茎節数、分枝数、茎の太さ、株あたりの莢数は同等であるが、莢重が前年比43%と極めて軽い。地上部の生体重はやや軽い。 <u>納豆小粒</u>: 開花期は平年より2日遅い8月8日であった。主茎長、主茎節数、分枝数、茎の太さ、株あたりの莢数は平年並であるが、莢重は平年比60%とかなり軽く、地上部生体重はやや軽い。</p> <p>8月22日に通過した台風9号の影響により落莢がみられた。他方、開花前後は雨がほとんど降らず圃場は乾燥した状態であった。根粒菌は土壌中の水分不足により活性が低下することから、子実の肥大不足により莢重が軽くなったと考えられた。</p> <p>現在の生育状況は次ページ表1、図1のとおりである。</p>	特になし	<p>●病虫害防除をこれまでに2回実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・莢害虫防除: 8/9, 8/26 ・紫斑病防除: 8/26 <p>○紫斑病の防除適期は開花始めから10日後～40日後である。1回防除の場合は、開花始めから25日後頃に行うと高い効果が得られる。</p> <p>○病虫害の発生予察については病虫害防除所のホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)</p>
	里のほほえみ 莢伸長期～ 子実肥大期	1 日 遅 い (対前年値)			
	納豆小粒 着莢期～ 莢伸長期	2 日 遅 い			

表 1 大豆の生育状況(8月25日現在, 播種後67日)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8月1日	±0 (8月1日)	+1 (7月31日)	63.2	132 (47.7)	108 (58.7)	14.4	106 (13.6)	104 (13.9)	4.8	92 (5.2)	112 (4.3)	11.5	108 (10.6)	106 (10.9)
里のほほえみ	8月2日	+1 (8月1日)	-	56.4	95 (59.1)	-	13.6	93 (14.6)	-	5.4	108 (5.0)	-	13.1	107 (12.3)	-
納豆小粒	8月8日	±0 (8月8日)	+2 (8月6日)	73.7	103 (71.8)	91 (80.9)	16.4	95 (17.3)	94 (17.4)	6.6	94 (7.0)	94 (7.0)	10.3	97 (10.6)	93 (11.1)

品種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	245	101 (242)	100 (245)	108	99 (109)	106 (102)	21.5	51 (42.4)	47 (46.1)
里のほほえみ	235	87 (271)	-	109	109 (100)	-	14.0	43 (32.4)	-
納豆小粒	243	84 (291)	87 (280)	166	98 (170)	95 (174)	4.9	109 (4.5)	60 (8.1)

- 1) 圃場(来歴): 中粗粒灰色低地土(輪換畑, 転換2年目, 前作麦)
- 2) 栽植密度: 11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm) 1本立て
- 3) 施肥量: N-P2O5-K2O: 0.3-1.2-1.2 (kg/a)
- 4) ()内は前年値または平年値。平年値は直近5ヵ年分のデータ平均値。
(平成22年~27年, 平成24年は天候不順により播種が7日遅れたため除外)
「里のほほえみ」は平成27年度から実施のため平年値のデータなし。
- 5) 一株莢重の平年値は直近3ヵ年分(平成25年~27年)のデータ平均値。



図 1 所内大豆の生育状況(8月25日撮影)

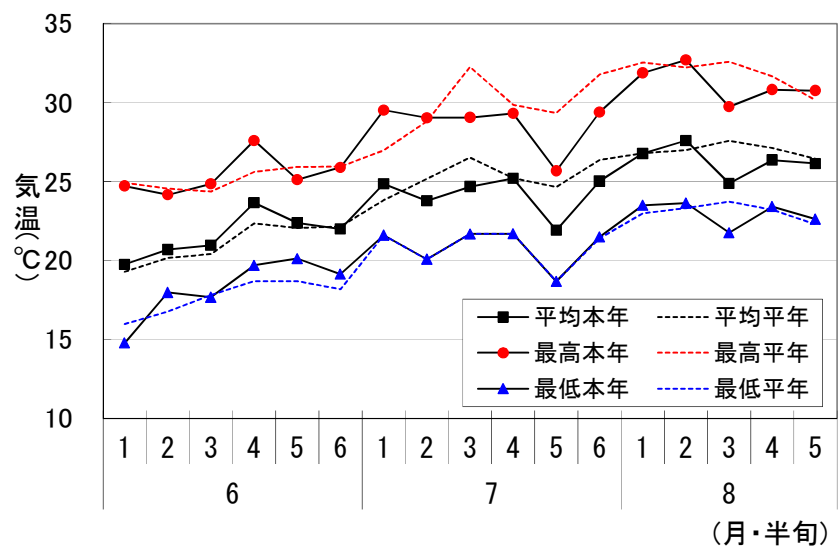


図2 最高・最低・平均気温の推移

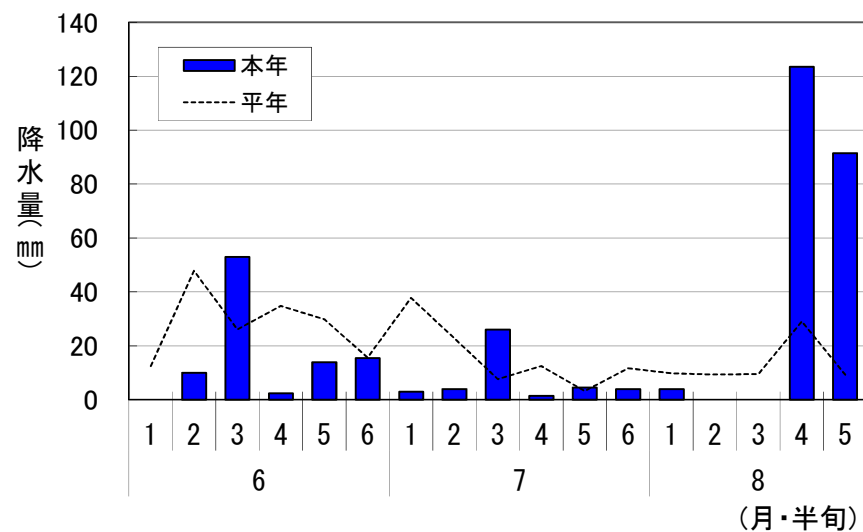


図3 半旬別降水量の推移

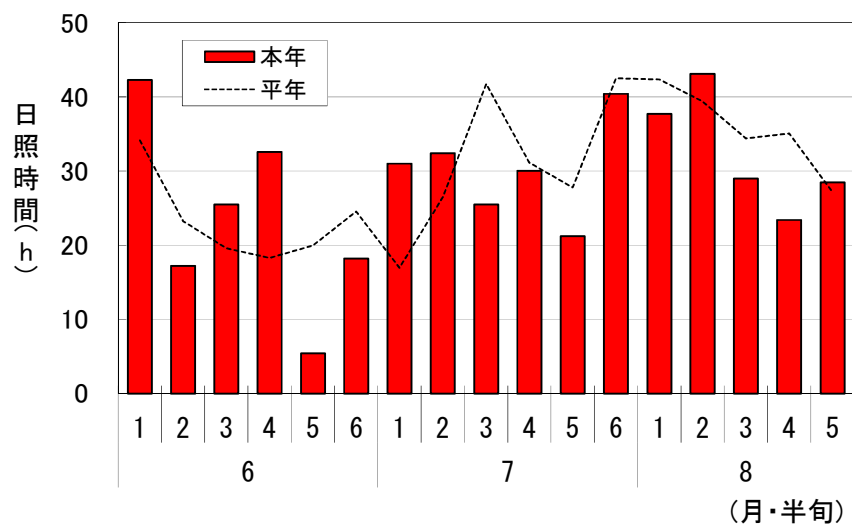


図4 半旬別日照時間の推移

※龍ヶ崎アメダスデータ参照, 平年値は直近5ヶ年の平均値